

平成 29 年度 第 1 回 にいがた交通戦略推進会議 質疑概要

日時：平成 29 年 7 月 26 日（水）

13：30～15：00

会場：本館 6 階 第 4 委員会室

<新たな「にいがた交通戦略プラン」の策定について>

発言骨子	構 成 員 発 言 要 旨	事 務 局 回 答 要 旨
検討体制	○できるだけ多くの公共交通の運行事業者に本会議に実際に出席し、議論に参加してもらいたい。	○新潟市内の公共交通は路線バスだけではなく、鉄道、コミュニティバス、タクシーなどがあるため、これら関係者と連携を取りながらより良い計画としていきたい。
地域公共交通網形成計画の内容	○財政的な制約も勘案しつつ、市民にとって、よりよい施策をできるだけ具体化していくことが大切であり、会議の構成員としてしっかりとサポートしていきたい。	○施策の熟度を深めるとともに、市民が移動しやすいまちとなるよう、皆さまからご助言をいただきながら進めていきたい。
個別計画の内容	○今後策定する個別計画とは、地域公共交通網形成計画のことなのか。何を指すのか。また、個別計画のスケジュール感を知りたい。	○地域公共交通網形成計画も個別計画のひとつと考えている。前期 5 年は具体的な施策を示し、後期 5 年につなげていきたい。
	○地域公共交通網形成計画以外で個別計画として想定しているものはあるのか。	○鉄道、バス、タクシーといった公共交通だけでなく、徒歩、自転車、自動車といった部分についても個別計画を想定しており、既存の計画と調整を図っていきたい。

<これまでの取り組みについて>

発言骨子	構 成 員 発 言 要 旨	事 務 局 回 答 要 旨
立地適正化計画を踏まえた考え方	○立地適正化計画を踏まえ、都心にアクセスせずとも、最寄りの地域拠点に行けば用事が済むといったような、地域拠点に対する現時点の考えを知りたい。	○各区にはまとまりのある市街地が点在しており、これまでは多核連携型都市を目指して取り組んできた。今後も立地適正化計画と連携を図りながら、計画策定を目指したい。

<にいがた交通戦略推進会議の構成員について>

発言骨子	構 成 員 発 言 要 旨	事 務 局 回 答 要 旨
構成員の追加提案	○地域交通の視点も必要であるため、新潟交通観光バス株式会社も構成員として追加することを提案する。	○提案に賛同。
ハイヤー協会の考え方	○提案では新潟県ハイヤータクシー協会となっているが、新潟市ハイヤータクシー協会を追加しない理由は。	○新潟市ハイヤータクシー協会だけでは秋葉区などがエリア外になってしまうため、市域全てのエリアをカバーする新潟県ハイヤータクシー協会とした。

<全体の質疑>

発言骨子	構 成 員 発 言 要 旨	事 務 局 回 答 要 旨
BRT の計画	○具体的な BRT 計画は、この会議で協議するのか。	○基幹公共交通軸の強化といった都心軸のあり方については、当会議で議論を行うが、BRT など個別の部分は、当会議での検討も踏まえ、別途所管セクションにて詳細な議論を行っていく。
	○協議会などが多く、どこで何を決めるか明確にしてほしい。	○推進会議の役割は資料 1 で説明したとおりであるが、ご指摘も踏まえ、今後とも積極的な議論が進められるような運営に努めたい。
立地適正化計画の見直し	○にいがた交通戦略プランを見直すことで、立地適正化計画を見直す予定はあるのか。	○現段階では、立地適正化計画の見直しは考えていない。